

藤山愛一郎 あいいちろう 實業家、政治家。明治二十年五月二十一日東京生れ、昭和二十年二月二十一日歿（八七七一五）。實業家藤山雷八の長男。慶應義塾大學中退。大日本製糖株式會社等の社長となる。昭和十六年日本商工会議所會頭。戦後經濟同友會代表幹事、二十二年外相、翌年衆議院議員（當選二回）。藤山派を結成して二度總裁選に挑むも敗れる。

譯著書、レイモンド・ローウィ著『口紅から機關車まで』インダストリアル・デザインナーの個人的記録』全二冊（訳、上巻・昭和二十八年七月十日、下巻・八月二十日学風書院）、『社長学』（合著、昭和二十九年八月十五日大蔵出版株式會社）、『私の行方』（昭和二十四年一月一日学風書院『日本の百人全集』）等。

口紅から機關車まで
—インダストリアル・デザインナーの個人的記録—



**NEVER LEAVE
WELL ENOUGH
ALONE**

*The personal record of an
industrial designer from
lipsticks to locomotives.*

Raymond Loewy

口紅から機關車まで
レイモンド・ローウィ著
藤山愛一郎訳
学風書院